

2023年度 研究開発助成事業 札幌バイオシーズ事業化支援事業 札幌バイオシーズ事業化支援補助金（6件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
1	<p><b>免疫細胞への新規抗原提示法による疾患特異的抗体の効率的創出</b></p> <p>疾患特異的なエピトープ構造を損なうことなく糖ペプチド抗原を免疫細胞表面に提示できる新しい方法論を活用した効率的な抗体創出プロセスを確立することを目的として、肝細胞がん特異的な抗フィブロネクチン抗体の作製をモデルケースに、そのコンセプトを実証する。</p>	<p>西村 紳一郎 [ 北海道大学大学院先端生命科学研究院 / 教授 ]                      横井 康広 [ 遠友ファーマ株式会社 / 研究員 ]</p>
2	<p><b>クローン病瘻孔におけるヒト自己骨髄間葉系幹細胞足場材の開発</b></p> <p>クローン病の腸管合併症として知られている瘻孔に対して、ヒト骨髄間葉系幹細胞を接着させた足場材（3次元構造）を用いた新たな細胞治療法として瘻孔への直接挿入の開発を進めている。瘻孔に直接挿入するのに最適かつ治療効果の高い足場材を実用化に向けて開発する。</p>	<p>河南 雅成 [ 株式会社ミネルヴァメディカ / 代表取締役 ]                      大西 俊介 [ 北海道大学大学院薬学研究院 分子細胞医薬学 / 教授 ]                      加畑 馨 [ 北海道大学病院                      医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 / 講師 ]</p>
3	<p><b>DPP-4 阻害薬関連水疱性類天疱瘡診断試薬実用化への共同研究</b></p> <p>本邦における2型糖尿病治療の第一選択薬である DPP-4 阻害薬は指定難病である水疱性類天疱瘡（BP）の発症に関与している可能性が指摘されている。DPP-4 阻害薬関連 BP の診断に有用な診断試薬はなく、新規検査の実用化が期待されている。このアンメットニーズに応えるべく新規診断試薬の開発・実用化を完遂する。</p>	<p>泉 健太郎 [ 北海道大学病院 皮膚科 / 講師 ]                      篠塚 直樹 [ 株式会社札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー / 課長 ]                      前 博克 [ 株式会社札幌イムノ・ダイアグノスティック・ラボラトリー / 主任研究員 ]                      眞井 翔子 [ 北海道大学病院 皮膚科 / 医員 ]</p>
4	<p><b>自己抗体の網羅的解析による封入体筋炎の診断および治療法開発</b></p> <p>患者数が増加している封入体筋炎（sIBM）は病因が不明であり、有効な治療法がない難治性筋疾患である。本研究開発では、イーベック独自の技術である B 細胞のバリエーションをベースとした自己抗体網羅的解析により sIBM 特異的抗体を同定し、診断・治療法開発、および、病因解明へとつなげることを目的とする。</p>	<p>三浦 りゅう [ 株式会社イーベック / 研究本部長 ]                      勝野 雅央 [ 名古屋大学大学院 医学系研究科神経内科学 / 教授 科長 ]                      村上 あゆ香 [ 名古屋大学医学部附属病院 脳神経内科 / 医員 ]                      須藤 倫子 [ 株式会社イーベック / 事業開発部部長代理 ]                      鈴木 明範 [ 株式会社イーベック / 技術員リーダー ]                      梅山 悠伊 [ 株式会社イーベック / 研究員 ]</p>

2023年度 研究開発助成事業 札幌バイオシーズ事業化支援事業 札幌バイオシーズ事業化支援補助金（6件）

No.	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属／役職等】
5	<p><b>1 粒子解析技術による核酸 LNP 製剤の評価と高品質製剤製造法の開発</b></p> <p>今後急速な普及が見込まれる脂質ナノ粒子型核酸製剤は、医薬品としての品質管理基準がまだ不十分である。本研究開発では北海道大学の1粒子解析技術を応用、発展させて脂質ナノ粒子型医薬を評価し新たな品質管理基準を確立させるとともに、自社の製造技術の優位性を見出して受託製造ビジネスへと発展させる</p>	<p>石井 武彦 [ ライラックファーマ株式会社 / 部長 ]                      龍崎 奏 [ 北海道大学大学院理学研究院 / 准教授 ]</p>
6	<p><b>CM キトサン CPC 複合ナノゲル剤を用いた口腔ケア製品の開発実証</b></p> <p>本研究開発では、2022年度札幌ライフサイエンス産業活性化事業によって確立したキトサンナノゲル剤創製技術を応用し、安価で簡便な口腔ケア製品を新規開発する。カルボキシメチル（CM）キトサンと塩化セチルピリジニウム（CPC）の複合ナノゲル剤を創製し、引き続き札幌市内の産学連携にて事業化を目指す。</p>	<p>宮治 裕史 [ 北海道大学大学院歯学研究院 臨床教育部 / 教授 ]                      小野寺 真也 [ 北海道曹達株式会社 研究開発部 デンタルラボグループ / グループリーダー ]                      中島 愛梨 [ 北海道曹達株式会社 研究開発部 デンタルラボグループ / 研究員 ]                      渡邊 弓 [ 北海道曹達株式会社 研究開発部 デンタルラボグループ / 研究員 ]                      長谷川 智香 [ 北海道大学大学院歯学研究院 硬組織発生生物学教室 / 准教授 ]                      長谷部 晃 [ 北海道大学大学院歯学研究院 口腔分子微生物学教室 / 教授 ]                      林 宏至 [ 北海道大学大学院歯学研究院 デンタルイノベーション部 / 准教授 ]                      網塚 憲生 [ 北海道大学大学院歯学研究院 硬組織発生生物学教室 / 教授 ]</p>